大分市立大道小学校　学力向上プラン　≪家庭・地域との協働を含む≫　令和３年度９月

取組番号①

学校教育目標　主体的に学び合い　共に高め合う　心豊かな大道っ子の育成

＜昨年度の実態＞

○「授業がよくわかる」が 75.7%とダウンしており、楽しく学習に取り組めていないと感じる児童が前年度(81%)より増えた

○「学力向上に係る成果と課題」から、言葉や文で考えを説明すること、複数の情報を整理し結びつけて考える力や目的や意図に応じてデータを基に自分の考えを書くことが苦手であると言える

○「授業で自分の考えをペアやグループなどで伝えることができた」と回答する児童
R２年１学期 59.7%　２学期 61.4%→R３年１学期 88%

| 学校経営の重点目標 | 検証指標 | 重点的取組 | 具体的な取り組み内容目標値 |
|---|---|---|---|
| 自分の考えを書き発表できる子どもの育成 | ・自分の考えをグループやクラスで発表できる児童８０%以上<br>・国語・算数の単元末テスト目標点数を超える児童７０%以上 | 学習規律の徹底 | ・チャイム着席の徹底を図る<br>・授業に必要なものを忘れない子　８０%以上<br>・宿題を忘れずに取り組む子　８０%以上<br>・「話し方 聞き方 あいうえお」の徹底を図る |
| | | 基礎学力の定着 | ・「おおみちタイム」の学習に集中して取り組む子　達成感８０%以上<br>・計算力・書く力を高める活動（日記指導、視写、計算等帯タイムで実施週４日） |
| | | 対話力の育成を図る | ・授業で、自分の考えをノート等に書き、ペアやグループなどで伝えることができる子　８０%以上<br>・授業で、友達の話を最後まで聞く子　８０%以上<br>・ＩＣＴを活用して表現力を育成する |

## 学校研究での取組

○認め合い支え合いながら、学ぶ楽しさを実感できる児童の育成を図る
- ・「なるほど」「発表できた」と児童が納得する授業構成の創造
- ・色々な考えが生まれる授業での分かりやすい説明

○「書く力」の向上を図る
- ・家庭学習での日記、授業やおおみちタイムの中で視写等を実施する

○算数の基礎学力の定着
- ・大分っ子非常勤講師と学びのアシスタントの連携や複数の教員による個別指導や指導法工夫改善を行い、基礎学力の定着に取り組む

## 家庭での取組

○家庭学習の習慣化を図る
- ・低 30 分、中 45 分、高 60 分

○基本的な生活習慣の定着
- ・早寝早起きに気をつけ、朝ごはんを食べる子　80%以上
  R３年度　１学期 89%
- ・21 時以降スマホ・タブレットをさわらなかった　80%以上
  R３年度　１学期 85%

…小中一貫３校共通項目

○「生活カード」により、家庭と連携した生活の見直し（早寝，早起き，朝ごはん）に取り組み、児童が長期休暇中の計画を立てることに有効活用する

## 地域での取組

○校区公民館との連携した活動
- ・子どもサロン『公民館夏休み塾（4 年生以上参加）』の実施

○保護者の活動（ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ制度）との連携で、学校の学習環境の整備、通学路の安全確保等に取り組む

○小・小連携
- ・６年生が卒業後に学習する課題を王子中学校区各小学校で統一。課題への取り組み方の方向性を合わせることにより、小学校から中学校にスムーズな連接に取り組み、共に基礎学力の向上を目指す

○小・中連携
- ・中学校区各学校で昨年度までの取組みの継続。
- ・授業力向上アドバイザーとの連携による基礎学力定着に取り組む